

この会議を傍聴して、世古さんが思ったこと。

今回委員の皆さんの議論を聴いて「都市は自然を無視できない」ことをあらためて思いました。たとえば昨今ではCO2排出削減のために「環境は大事だ」といわれますが、一昔前の農村共同体では「自然は神さまの贈り物」であって、その重要さを認識するための科学的分析は必要ありませんでした。自然への信仰がコミュニティの凝集力だったのです。「都市の中に緑を」も良いですが、しかし“自然の中に生じた集落”という、自然に寄り添う本来の都市の在り方＝低炭素社会に、今回の基本計画がいかに迫れるでしょうか。

低炭素社会に向けた哲学的考察 ～「自然」とは何か？～

フランスの思想家J.ボードリヤールが「自然を解体した後で記号として現実の中へ復活させる…こうして、ひとは森を切り倒して「緑の都市」と命名された集落を打ち立てる」と述べたように、私たちが普段用いる「自然」という言葉は単なる調整された“イメージ”です。メディアや企業が造り出す様々なイメージの海を漂っている現代の私たちは、思考することをほぼ彼らに明け渡しています。本当の自然とはこのヴェールを剥ぎ取り、一人ひとりが生を実感する場所にやっと立ち現れてくるものではないでしょうか。

当日のプログラム

開催日：平成 21 年 12 月 22 日（火） 会場：京都市国際交流会館

- ・今後のスケジュールの検討
- ・松山大耕 未来の担い手・若者会議U35議長から「未来の担い手・若者会議U35から若者提案」の最終報告
- ・第1回融合委員会でのワークショップの結果等を検討素材として、京都が目指すべき未来像を検討
- ・共汗部会及び融合委員会の今後の進め方についての意見交換

「京都市基本計画審議会」、「U35」とは

「京都市基本計画審議会」とは、10年後の京都を見据えて、今後10年間の京都市の指針となる計画を立てる重要な会議です。「U35」とは「未来の担い手・若者会議U35」のことをいい、基本計画の策定に対し、未来のまちづくりの担い手として、若者ならではの観点から提言を行う、概ね35歳未満のメンバーで構成された会議です。皆さんも会議の傍聴にお越しください。

京都市基本計画審議会 第2回融合委員会 開催結果

<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000073343.html>

未来の担い手・若者会議 U35

<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000071812.html>